

介護職員初任者研修カリキュラム及び日程表

研修期間 4月26日～9月6日

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
1. 職務の理解				【基準時間6時間(うち通信上限0時間)】		
多様なサービスの理解	4月26日 10:00～13:00 (3時間)	0時間	むべの里合志 多目的室 15名	[7] 長尾 純恵	ア	多目的室にて講義
介護職の仕事内容や働く現場の理解	4月26日 14:00～17:00 (3時間)	0時間	むべの里合志 多目的室 15名	[7] 長尾 純恵	ア	(第1回添削課題配付)
小 計	6時間	0時間				
2. 介護における尊厳の保持・自立支援				【基準時間9時間(うち通信上限7.5時間)】		
人権と尊厳を支える介護	5月10日 10:00～10:45 (0.75時間)	3.75時間	むべの里合志 多目的室 15名	[5] 久保 千夏	ア	(第1回添削課題回収)
自立に向けた介護	5月10日 10:45～11:30 (0.75時間)	3.75時間	むべの里合志 多目的室 15名	[5] 久保 千夏	ア	
小 計	1.5時間	7.5時間				
3. 介護の基本				【基準時間6時間(うち通信上限3時間)】		
介護職の役割、専門性と他職種との連携	5月10日 11:45～12:30 (0.75時間)	0.75時間	むべの里合志 多目的室 15名	[4] 川口 尚美	ア	(第1回課題振り返り)
介護職の職業倫理	5月10日 13:30～14:15 (0.75時間)	0.75時間	むべの里合志 多目的室 15名	[4] 川口 尚美	ア	
介護における安全の確保とリスクマネジメント	5月10日 14:30～15:15 (0.75時間)	0.75時間	むべの里合志 多目的室 15名	[4] 川口 尚美	ア	
介護職の安全	5月10日 15:15～16:00 (0.75時間)	0.75時間	むべの里合志 多目的室 15名	[4] 川口 尚美	ア	(第2回添削課題配付)
小 計	3時間	3時間				
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携				【基準時間9時間(うち通信上限7.5時間)】		
介護保険制度	5月17日 10:00～10:30 (0.5時間)	2.5時間	むべの里合志 多目的室 15名	[5] 久保 千夏	ア	
医療との連携とリハビリテーション	5月17日 10:30～11:00 (0.5時間)	2.5時間	むべの里合志 多目的室 15名	[5] 久保 千夏	ア	
障害者自立支援制度及びその他制度	5月17日 11:00～11:30 (0.5時間)	2.5時間	むべの里合志 多目的室 15名	[5] 久保 千夏	ア	
小 計	1.5時間	7.5時間				

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
5. 介護におけるコミュニケーション技術				【基準時間6時間(うち通信上限3時間)】		
介護におけるコミュニケーション	5月17日 12:30~14:00 (1.5時間)	1.5時間	むべの里合志 多目的室 15名	[5] 久保 千夏	ア	(第2回添削課題回収)
介護におけるチームのコミュニケーション	5月17日 14:15~15:45 (1.5時間)	1.5時間	むべの里合志 多目的室 15名	[5] 久保 千夏	ア	
小計	3時間	3時間				
6. 老化の理解				【基準時間6時間(うち通信上限3時間)】		
老化に伴うこころとからだの変化と日常	5月24日 10:00~11:30 (1.5時間)	1.5時間	むべの里合志 多目的室 15名	[10] 山下とよ子	ウ	(第2回添削課題振り返り)
高齢者と健康	5月24日 11:40~13:10 (1.5時間)	1.5時間	むべの里合志 多目的室 15名	[10] 山下とよ子	ウ	(第3回添削問題配付)
小計	3時間	3時間				
7. 認知症の理解				【基準時間6時間(うち通信上限3時間)】		
認知症を取り巻く環境	6月2日 10:00~10:45 (0.75時間)	0.75時間	むべの里合志 多目的室 15名	[7] 長尾 純恵	ア	(第3回添削課題回収)
認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	6月2日 10:45~11:30 (0.75時間)	0.75時間	むべの里合志 多目的室 15名	[7] 長尾 純恵	ア	
医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	6月2日 12:30~13:15 (0.75時間)	0.75時間	むべの里合志 多目的室 15名	[2] 岩下 亀子	ア	
家族への支援	6月2日 13:15~14:00 (0.75時間)	0.75時間	むべの里合志 多目的室 15名	[2] 岩下 亀子	ア	
小計	3時間	3時間				
8. 障害の理解				【基準時間3時間(うち通信上限1.5時間)】		
障害の基礎的理解	6月2日 14:30~15:00 (0.5時間)	0.5時間	むべの里合志 多目的室 15名	[2] 岩下 亀子	ア	(第3回添削課題振り返り)
障害の医学的側面、生活障害、心理、行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	6月2日 15:00~15:30 (0.5時間)	0.5時間	むべの里合志 多目的室 15名	[2] 岩下 亀子	ア	
家族の心理、かかわり支援の理解	6月2日 15:30~16:00 (0.5時間)	0.5時間	むべの里合志 多目的室 15名	[2] 岩下 亀子	ア	(第4回添削課題配付)
小計	1.5時間	1.5時間				

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
9. こころとからだのしくみと生活支援技術				【基準時間75時間(うち通信上限12時間)】		
I 基本知識の学習				(10~13時間)		
介護の基本的な考 え方	6月 7日 9:30~12:30 (3時間)	1時間	むべの里合志 多目的室 15名	[2] 岩下 電子	ア	
介護に関するこ ころのしくみの基礎 的理解	6月 7日 13:30~16:30 (3時間)	1時間	むべの里合志 多目的室 15名	[2] 岩下 電子	ア	
介護に関するから だのしくみの基礎 的理解	6月 14日 10:00~12:00 13:00~15:00 (4時間)	0時間	むべの里合志 多目的室 15名	[10] 山下とよ子	ウ	
I 計	10時間	2時間				
II 生活支援技術の講義・演習				(50~55時間)		
生活と家事	6月 21日 9:30~12:30 (3時間)	1時間	むべの里合志 多目的室 15名	[1] 市原 てるみ	ア	(第4回添削課題回収)
快適な居住環境整 備と介護	6月 21日 13:30~16:30 (3時間)	1時間	むべの里合志 多目的室 15名	[8] 藤木 秀一	ア	有料老人ホーム空居室にて 実習
整容に関連したこ ころとからだのしく みと自立に向けた介 護	6月 28日 10:00~12:00 13:00~15:00 (4時間)	1時間	むべの里合志 多目的室 15名	[6] 倉本 征子	ア	多目的室洗面台での実習
移動・移乗に関連 したところとから だのしくみと自立 に向けた介護	7月 5日 9:30~12:30 13:30~16:30 (6時間)	1時間	むべの里合志 多目的室 15名	[3] 上野 有実	ア	多目的室にて福祉用具を利用 しての実習
食事に関連したこ ころとからだのしく みと自立に向けた介 護	7月 12日 9:30~12:30 13:30~16:30 (6時間)	1時間	むべの里合志 多目的室 15名	[3] 上野 有実	ア	多目的室にて実習
入浴、清潔保持に 関連したところと からだのしくみと 自立に向けた介護	7月 19日 9:30~12:30 13:30~16:30 (6時間)	1時間	むべの里合志 多目的室 15名	[6] 倉本 征子	ア	有料老人ホーム浴室にて実 習
排泄に関連したこ ころとからだのしく みと自立に向けた介 護	7月 26日 9:30~12:30 13:30~16:30 (6時間)	1時間	むべの里合志 多目的室 15名	[4] 川口 尚美	ア	多目的室トイレ・ポータブル トイレを使用実習 (第 4回添削課題振り返り)
睡眠に関連したこ ころとからだのしく みと自立に向けた介 護	8月 2日 9:00~12:00 (3時間)	0.5時間	むべの里合志 多目的室 15名	[4] 川口 尚美	ア	
死にゆく人に関連 したところとから だのしくみと終末 期介護	8月 9日 13:00~17:00 (4時間)	0.5時間	むべの里合志 多目的室 15名	[9] 森田美弥子	ウ	
II 計	41時間	8時間				
III 生活支援技術演習				(10~12時間)		
総合生活支援技術 演習(1)	8月23日 9:30~12:30 13:30~16:30 (6時間)	1時間	むべの里合志 多目的室 15名	[8] 藤木 秀一	ア	
総合生活支援技術 演習(2)	8月30日 9:30~12:30 13:30~16:30 (6時間)	1時間	むべの里合志 多目的室 15名	[9] 森田 美弥子	ウ	
III 計	12	2時間				
小 計	63時間	12時間				

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
10. 振り返り			【基準時間 4 時間 (うち通信上限 0 時間)】			
総合生活支援技術演習 (3)	9月6日 9:30~11:30 (2時間)	0時間	むべの里合志 多目的室 15名	[5] 久保 千夏	ア	
就業への備えと研修終 了後における継続的な 研修	9月6日 12:30~14:30 (2時間)	0時間	むべの里合志 多目的室 15名	[5] 久保 千夏	ア	
小計	4時間	0時間				
合計	4時間	0時間				

修了評価						【基準時間 1 時間以上】
項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
修了評価	9月6日 15:00~16:30 (1.5時間)		むべの里合志 多目的室 10名	[7] 長尾 純恵	ア	修了試験の実施

講師一覧

講師番号	氏名	担当する項目	講師要件	専兼の別	新規・継続の別	備考
1	市原 てるみ	・生活と家事	ア	兼	新規	
2	岩下 亀子	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の基本的な考え方 ・介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ・家族への支援 ・障害の基礎的理解 ・障害の医学的側面、生活障害、心理、行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 ・家族の心理、かかわり支援の理解 	ア	兼	新規	添削指導・課題作成者
3	上野 有実	<ul style="list-style-type: none"> ・移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ・食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 	ア	兼	新規	
4	川口 尚美	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職の役割、専門性と他職種との連携 ・介護職の職業倫理 ・介護における安全の確保とリスクマネジメント ・介護職の安全 ・排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 	ア	兼	新規	

		・睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護				
5	久保 千夏	<ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーション ・介護におけるチームのコミュニケーション ・人権と尊厳を支える介護 ・自立に向けた介護 ・介護保険制度 ・医療との連携とリハビリテーション ・障害者自立支援制度およびその他制度 ・就業への備えと研修修了後における継続的な研修 ・総合生活支援技術演習（3） 	ア	兼	新規	添削指導・ 課題作成者
6	倉本 征子	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴、清潔保持関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 	ア	兼	新規	
7	長尾 純恵	<ul style="list-style-type: none"> ・開校式・オリエンテーション ・多様なサービスの理解 ・介護職の仕事内容や働く現場の理解 ・認知症を取り巻く環境 ・認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 	ア	兼	新規	添削指導・ 課題作成者

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 終了評価 ・ 修了試験 				
8	藤木 秀一	<ul style="list-style-type: none"> ・ 快適な居住環境整備と介護 ・ 総合生活支援技術演習（1） 	ア	兼	新規	添削指導・ 課題作成者
9	森田 美弥子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護の基本的な考え方 ・ 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 ・ 総合生活支援技術演習（2） 	ウ	兼	新規	
10	山下 とよ子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ・ 老化に伴うところとからだの変化と日常生活 ・ 高齢者と健康 	ウ	兼	新規	

学 則

1 事業者の名称及び所在地	事業者 社会福祉法人 むべの里 山口県宇部市大字東須恵字大浴320-1
2 研修事業の名称	むべの里合志 介護職員初任者研修
3 研修課程及び形式	介護職員初任者研修課程 (通学 ・ 通信)
4 開講の目的	介護を職とする人が、幅広い利用者に対して介護を提供するうえで必要となる基本的な知識・技術を習得する。 地域の人材育成
5 受講対象者(受講資格)及び定員	むべの里介護職として働いている方。介護職として今後働きたい方。 定員 10名
6 募集方法(募集開始時期・受講決定方法を含む)受講手続及び本人確認方法	募集開始4月・講義時期4月～9月 受講希望者は、所定の申込書に必要事項を記入したうえで、法人宛に提出。法人内で働いている方、または(社)むべの里で働きたい方で採用を予定している方。10名。 次のア～カ までのいずれかの公的証明書の提示を求め、受講申込書等に記載された氏名と当該公的証明書に記載氏名が同じであることを確認する。 ア. 戸籍謄本、戸籍抄本もしくは住民票 イ. 住民基本台帳カード ウ. 在留カード等 エ. 健康保険証 オ. 運転免許証
7 研修参加費用	10,000円 (内訳)・受講料 3,520円 ・テキスト代 6,480円
8 解約条件及び返金の有無	1. 傷病、転居等やむを得ない事情により受講できない場合 2. 本人の都合による場合 1. の場合、テキスト配布前は金額返金、テキスト配布後は受講料のみ返金。 2. の場合、テキスト配布前は金額返金、受講開始後は返金しない。
9 研修カリキュラム	別添のとおり
10 研修会場(名称及び所在地)	(社)むべの里 有料老人ホーム合志一号館 多目的室 熊本県合志市豊岡1900-6
11 担当講師	別添様式 5の1
12 実習施設	(社)むべの里 有料老人ホーム合志一号館 多目的室・浴室・トイレ

13 使用教材（テキスト） （副教材も含む）	中央法規 介護職員初任者研修テキスト1. 2
14 科目免除の取扱い	無
15 通信形式の場合 その実施方法 ・添削指導及び面接指導 の実施方法 ・評価方法及び認定基準 ・自宅学習中の質疑等へ の対応方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 面接授業と通信の併用により実施 ・ 課題形式と五択問題を課題として4回に分け実施。各担当者が添削を行う。 ・ 質疑応答は、実施事業所にて随時受け付ける。
16 研修修了の認定方法・ 終了評価不合格の場合 の取扱い	<p>次の1. 2. のいずれにも該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全科目受講した者 2. 修了試験に合格した者（100点満点中70点以上） 3. 再評価については、終了試験に基準が満たさない場合は、補講をし試験を行う。（100点満点中70点以上） 4. 介護技術の習得認定は、担当講師が個別指導をしながら習熟度を評価する。（個別に習熟するまで指導する）
17 欠席者の取扱い（遅 刻・早退の扱い含む）	1. 10分以上の遅刻・早退は欠席扱いとする。
18 補講の取扱い （実施方法及び費用等）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 欠席者は、欠席扱いになった科目を受講することができる。但し、補講を行うが、1時間 1,000円の料金を支払う。 2. 補講科目は、全科目のおおむね1/10以内とする。
19 受講の取消	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全科目の1/10以上を欠席した場合。 2. 受講者が公的証明書により本人と確認できない場合 3. ほかの受講者に不利益な行為を行った者
20 受講者の個人情報の 取扱い	<p>秘密保持誓約書を社会福祉法人むべの里では採用時に本人より署名捺印をしている。</p> <p>罰則規定もあり、個人情報の流出には厳重に取り扱っている。</p> <p>個人情報は、格納庫に収納する等により、厳正に管理する。</p>
21 研修事業執行担当部署 及び研修責任者	研修事業執行担当部署 むべの里合志 責任者 長尾 純恵
22 その他研修実施に係る 留意事項	